

## 第 59 回 関東地区私立小学校教員研修会 報告書

日時： 平成 29 年 11 月 11 日（土）

会場： 桐蔭学園小学部

内容： ・授業参観

・全体講演 「幼稚園から小学校、そして中学校へのトランジションリレー  
～カリキュラム・マネジメントとアセスメント～」

講師 溝上慎一先生 京都大学教授

・部会別研修

部会： 国語、社会、算数、理科、生活・総合、音楽、図画工作、家庭、  
体育、学校保健、学級経営、学校図書館、メディア教育、外国語、  
学校劇、教頭会 全 16 部会

参加人数： 加藤学園暁秀 26 名 東海大学付属静岡翔洋 20 名  
常葉大学附属橘 22 名 静岡サレジオ 27 名 計 95 名

まず、授業を参観させていただきました。桐蔭学園小学部の取り組みを生かした授業提案がされており、非常に良い学びとなった。

全体講演では、「幼稚園から小学校、そして中学校へのトランジションリレー～カリキュラム・マネジメントとアセスメント～」という演題で、溝上慎一先生よりご講演をいただいた。今回の学習指導要領改訂で、学校教育で子ども達に身に付けさせたい力は、①コミュニケーション力②議論する力③相手にわかるように伝える力であるとしている。これらを身に付けさせるためには、日頃の人との関わり（コミュニケーション）の積み重ねが重要である。人の育ちがリレーとなっていることを教師が意識し、きちんとバトンパスしていくことが私達小学校教師に課せられた役割だということを再確認した。

小学校では、子ども達の発達段階を考えると、習得に力を入れ、しっかりと基礎固めをしなければならない。だが、それだけにとどまってはいけない。習得したものを活用・探求できるような学習活動を展開し、自信を持って、自分の考えを表現できるような子どもを育てていくことが重要で、そのために、アクティブ・ラーニングという授業方法を取り入れていく必要がある。

午後の部会別研修会では、それぞれの部会でテーマを決め、講師の先生から提案授業や講演をしていただいたり、ワークショップ形式での研修を行ったりした。教科の部会では、授業づくりについて活発な意見交換が行われた。新学習指導要領実施に向けた提案も数多くあり、実りの多い研修会となった。

授業参観、講演、部会別研修を通して、様々なことを学ぶことができた。子どもたちのより良い学びや、安全な学校生活のため、日々の教育活動にしっかりとフィードバックしていきたい。